

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博（医）乙第1751号	氏名	高橋 元
論文審査担当者		主査教授	下川 功
		副査教授	大園 恵幸
		副査教授	永安 武
論文審査の結果の要旨			
<p>1. 研究目的の評価 本研究は、緑茶の成分であるカテキンによる腎細胞発癌の抑制について検討したものであり、その目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2. 研究手法に関する評価 腎尿細管細胞の化学発癌モデルを用いて、ギャップ結合の消失を指標とした研究手法は妥当であり、実験条件の設定も適切に行われていた。</p>			
<p>3. 解析・考察の評価 発癌因子の投与によるギャップ結合の消失をカテキンが抑制することを示し、さらにギャップ結合を構成するコネキシン 43 のリン酸化レベルとの関連性を明らかにした点は、十分に評価できる。</p>			
<p>以上のように本論文は、腎細胞癌の予防における分子機構の解明に貢献し、ヒト腎細胞癌の予防や治療にカテキンが有用である可能性を示唆した。審査員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			